

SPAC 秋→春のシーズン 2021-2022 #3

夜叉ヶ池

Demon Lake

演出：宮城聡

作：泉鏡花

音楽：棚川寛子

美術デザイン：深沢襟

衣裳デザイン：竹田徹

出演：永井健二、布施安寿香、奥野晃士、たきいみき、
春日井一平、木内琴子、貴島豪、小長谷勝彦、
鈴木真理子、武石守正、ながいさやこ、三島景太、
宮城嶋遥加、山崎皓司、若宮羊市

日時・会場

2022年

1月22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日)

2月6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、23日(水・祝)

3月5日(土) 各日14:00開演

静岡芸術劇場 (グランシップ内)

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

チケット

一般：4,200円 / ペア割引：3,700円 (2名様で1枚につき)

ゆうゆう割引：3,500円 [満60歳以上の方]

学生割引：[大学生・専門学校生] 2,000円 / [高校生以下] 1,000円

◎未就学児入場不可

[親子室] 静岡芸術劇場には乳幼児と一緒に観劇いただける親子室がございます (各回1組受付)。

[託児サービス] 2月12日(土)の公演では、「保育支援グループすわん」による託児サービスをご利用いただけます (要予約/定員3名/先着順)。

●ご予約・お問い合わせ：SPACチケットセンター

TEL. 054-202-3399 (10:00~18:00/休業日を除く)



▲2012年公演より /

左から奥野晃士 (山沢学円役)、布施安寿香 (百合役)、永井健二 (萩原晃役)

製作：SPAC-静岡県舞台芸術センター

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

『夜叉ヶ池』へのお問い合わせ・取材のご希望は「SPAC-静岡県舞台芸術センター広報担当：西村、内田」までお願いいたします。

TEL：054-208-4008 (舞台芸術公園) / FAX：054-203-5732 / E-mail：nishimura@spac.or.jp、uchida@spac.or.jp

■うつくしい舞台美術と衣裳、こころ揺さぶる生演奏で魅せる、宮城聡・SPACの人気スペクタクル！

大正初めの山深い村里を舞台に、人と異界が交差する幻想世界を描いた泉鏡花の『夜叉ヶ池』を、SPAC芸術総監督・宮城聡が壮麗に立ち上げた本作。2008年の初演以来、再演を重ねるSPAC人気作品の一つで、約7年ぶり5度目の上演となります。

美しい舞台美術と艶やかな衣裳、俳優たちによる打楽器の生演奏に加え、「迫り」や「紗幕」など演劇専用劇場ならではの機構を駆使した演出が施され、演劇の魅力満載の本作。物語の中心となる役どころは、初演以来同じ俳優が演じ続けており、はまり役をさらに深く掘り下げた演技も見どころです。<お芝居>の醍醐味が詰まった、成熟したSPAC版『夜叉ヶ池』にご期待ください。

■コロナ禍の現代にも通じる、泉鏡花戯曲が持つ普遍性

泉鏡花は福井県に実在する夜叉ヶ池に伝わる伝説をもとに、竜神とそれを取り巻く妖怪たちなどを登場させ、おとぎ話のような世界を作り出しながら、自然に対する人間の傲慢さという大きなテーマも描いています。

山奥で暮らす夫婦を「排除」しようとやってくる村人たちは、パンデミック下で顔を出した、人間の原始的な攻撃性を映し出しているかのようです。彼らは村を救うという名目を掲げ、自分たちに都合の良いように振る舞い、最後には自然の力によって大きな報いを受けることとなります。

1913年に発表されながら、現代にも通じる人類への痛烈な風刺を内包した泉鏡花戯曲、その美しいセリフに秘められた奥行きを、ぜひ劇場でお楽しみください。

あらすじ

その昔、村人たちは夜叉ヶ池の竜神と約束を交わした。「日に三度、鐘をつくこと。さもなければ、竜神は池を飛び出し、大水で村を池の底に沈める・・・」。村を訪ねてきた山沢学円は、失踪した学友の萩原晃が村の娘・百合を妻としてその村の山奥で鐘つき役を引き受けていることを知る。一方、約束により池を離れられない夜叉ヶ池の主・白雪姫は、山向こう千蛇ヶ池の恋しい若君に会いたい一心で鐘を壊そうとして・・・。

そんな中、日照りが続いた村では、村人たちが百合を生贄に雨乞いをしようと企んでいた。

プロフィール**宮城聡 (みやぎ・さとし)**

©新良大

演出家。2007年SPAC芸術総監督に就任。自作の上演とともに世界各地から現代社会を鋭く切り取る作品を紹介、また県内各地でのアウトリーチ活動にも力を注ぎ「世界を見る窓」としての劇場運営を行う。代表作に『王女メディア』『マハーバーラタ』『アンティゴネ』など。K-mix (静岡FM放送) レギュラー番組「宮城聡の頭のなか」出演中。

宮城聡と泉鏡花作品

◆『天守物語』

1996年5月、利賀芸術公園野外劇場 (利賀・新緑フェスティバル) にて初演。以降、国内外で再演を重ね、SPACでは「ふじのくにせかい演劇祭2011」等にて上演。

◆『夜叉ヶ池』

08年5月、静岡芸術劇場 (Shizuoka 春の芸術祭2008) にて初演、劇場の舞台機構を最大限に使う演出に挑戦。以降再演を繰り返し、今回7年ぶり5度目の上演。

———演出おぼえがきより———

泉鏡花がユニークなのは、日本が非常に戦争に近かった時代に、「強さ」とは異なる尺度で美を発見し、それを表現しえたところでしょう。(中略) 現実世界では力を持ち得ないもの、当時の世間の評価軸には乗りようのなかったもののなかに美を見いだした泉鏡花がいまのわれわれに届けてくれるのは、「価値観の多様性を維持する」ことの大切さなのかなと、第一次世界大戦開戦前年に書かれた『夜叉ヶ池』を稽古しながら僕は思っていました。鏡花が古びないのは、時代の大勢をありありと把握しつつ、しかもそれに対して距離を取ることができた彼の精神のスタンスゆえにちがいません。

関連企画**〈プレトーク〉**

一般公演日の開演 25 分前より 2F カフェ・シンデレラで、舞台をよりおもしろく観劇できるポイントをご紹介します。

〈アーティストトーク〉

終演後にトークを開催いたします。ゲストは追ってウェブサイト等にて発表いたします。

1月23日(日)、2月6日(日)、23日(水・祝)

〈バックステージレクチャー〉

SPAC 創作・技術部スタッフが舞台裏を解説します。

1月29日(土)、30日(日)、

2月12日(土)、13日(日)、19日(土)、3月5日(土)

各日終演後 所要時間：約 30 分 (参加無料/予約不要)

〈はじめての演劇鑑賞講座〉

演劇初心者の方向けに、SPAC 俳優・中野真希が見所を観劇前にレクチャーいたします。観劇が初めてでない方もご参加いただけます。

1月22日(土)、29日(土) 12:30~13:30

参加無料/要予約 定員 20 名

★「カフェ・シンデレラ」コラボメニュー

劇場2Fのカフェ・シンデレラでは、地域の飲食店とコラボし、上演作品に合わせたメニューをご用意しております。今回は草薙の和菓子屋「かもかし」にご協力いただき、『夜叉ヶ池』の舞台をイメージした特別バージョンの焼き最中を販売いたします (数量限定)。

◀「かもかし」外観

〒424-0888 静岡県静岡市清水区中之郷1丁目5

中高生鑑賞事業「SPACeSHIP げきとも！」

SPAC では「劇場は世界を見る窓である」という理念のもと、静岡県内の中学生・高校生を対象に招待公演を行っています。本作では県内 41 校、約 6,000 名の中高生が静岡芸術劇場での鑑賞を予定しています。

※一般のお客様は観劇をご遠慮いただいております。

1月	13日(木) 13:30 開演、14日(金) 13:30 開演 17日(月) 13:30 開演、18日(火) 13:30 開演 20日(木) 13:30 開演、21日(金) 13:30 開演 26日(水) 13:30 開演、27日(木) 13:30 開演 28日(金) 12:00 開演、
2月	1日(火) 13:30 開演、2日(水) 13:30 開演 8日(火) 13:30 開演、9日(水) 13:30 開演 15日(火) 10:30 開演、17日(木) 13:30 開演 18日(金) 13:30 開演、22日(火) 13:30 開演 24日(木) 13:30 開演、25日(金) 13:30 開演
3月	1日(火) 14:00 開演、2日(水) 13:30 開演 3日(木) 13:30 開演、4日(金) 13:30 開演 7日(月) 13:30 開演、9日(水) 18:00 開演 11日(金) 13:15 開演、 (計 26 公演)

——— **新型コロナウイルス感染症対策** ———

ご来場のお客様へご協力をお願い

- ご来場前の体調チェック、またご来場の際にはマスク着用をお願いいたします。
- 会場入口にて、サーモグラフィ/非接触型体温計にて検温を行い、37.5 度以上の場合にはご入場をお断りいたします。

★詳細は公式サイトをご覧ください。▶

